



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



- 2p 6月定例会
- 3p 7月臨時会・議員全道研修会
- 4p ここが聞きたい? 7人の議員が一般質問
- 11p 委員会報告
- 12p 高校生との懇談会

No. **39**
2016. 7. 31 発行



むかわ町議会
☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会
☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

各 会 計 補 正 予 算

(単位：万円)

各 会 計	補正額	補正後の総額
一 般 会 計	2千615	101億1千651
下 水 道 事 業 会 計	166	8千102

第2回議会定例会

平成28年第2回議会定例会は、6月20・21日2日間開催されました。

7人が一般質問を行い、町長から提出のあった報告1件、承認1件、諮問2件、一般会計補正予算案など議案15件を可決、意見書4件可決、1件を否決しました。

主なもの

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業補助金 1千66万円

【議 案】

◆公の施設に係る指定管理者の指定に関する件
町の施設の委託先を決定(公募によらない選定)

●四季の館(10年間)
株式会社果夢工房
代表取締役 小金澤 敏郎

●鶴川高等学校生徒寮「鶴川三気塾」(5年間)
「鶴川三気塾」管理委員会
委員長 松田 明雄

質 疑

三上純一議員 利活用で、5月30日に鶴川高校生との懇談会を行った際、三気塾に野球部以外

の生徒の入寮が出来ればと要望がありました。今の空き状況と稼働率は。

大塚治樹生涯学習課主幹 現在57部屋で4階の16部屋が空き部屋になっています。

条例では野球部の寮とはなっていない。条例で寮を利用する者は、あらかじめ指定管理者に申請し、許可を受けなければなりません。

●種別高齢者グループホーム「みのり」(10年間)

社会福祉法人 愛誠会
理事長 横山 宏史

●ぼぼんた市場(5年間)

ぼぼんた市場運営管理組合
代表 舛岡 昭

●稲里牧場及び和泉牧場(5年間)

とまこまい広域農業協同組合
代表理事組合長 秋永 徹

●むかわ町商工会館(10年間)

むかわ町商工会
会長 山崎 満敬

●汐見共同井戸(10年間)

汐見第二水道組合

組合長 滝本章

●汐見一区飲料水供給施設(10年間)
汐見一区水道組合
組合長 佐々木 廣治

組合長 佐々木 廣治

◆富内銀河会館新築工事(建築主体)指名競争入札
株式会社 山越組
6千696万円(税込み)

質 疑

津川篤議員 道が示す防災上の危険地帯とかなり離れた位置にこの銀河会館を建設する予定ですか。

田所隆地域振興課長 今回の富内銀河会館は、建物自体はその警戒区域から外れています。

◆平成28年度一般会計補正予算

●総務一般事務

質 疑

大松紀美子議員 熊本地震の見舞金50万円の決め方の基準は。高田純市総務企画課長 改めて基準を設けて出している金額で

はありません。現在熊本県民の方々からもふるさと納税として寄付金をいただいています。昨年度、40万円弱ほどがあり、その前年度にもあり、50万円を災害地への見舞い金とします。

質 疑

●産業会館管理運営事務
野田省一議員 百万円ちょうど
の内訳は。

高田総務企画課長 本年度非常階段側のモルタルが落下し建物の外壁すべてを補修するとなると、相当数の金額になります。大規模な改修は次年度。通行する人等に迷惑のかわらないように、落下防止などの額を百万円の金額の中で緊急対応をしたいと思います。



笑顔がすてき

三上議員 老朽化と捉えていいの
か、タイルが剥がれ落ちるかわ
からない状況なので非常に危
惧していますが、どのように捉
えていますか。

高田総務企画課長 産業会館は、
タイルが浮いているところがな
いか調査をしました。落ちる危
険性のある部分は、早急に対応
を図っていきます。

老朽施設の維持管理は、対応
が甘いのではとご意見もありま
す。管理は徹底していきたいと
考えています。

諮問

◆人権擁護委員の推薦人
権擁護委員法に基づき
法務大臣が委嘱する委
員の推薦

むかわ町花岡
むかわ町美幸

田口秀吉氏 再任

前田幸男氏 新任



採択された意見書

●義務教育費国庫負担制度堅
持・負担率1/2の復元、子
どもの貧困解消など教育予算
確保・拡充と就学保障の充実
「30人以下学級」の実現をめ
ざす教職員定数改善に向けた
意見書

●地方財政の充実・強化を求め
る意見書

●道教委「新たな高校教育に関
する指針」の見直しと全ての
子どもにゆたかな学びを保障
する高校教育を求める意見書
●平成28年度北海道最低賃金改
正等に関する意見書

不採択となった意見書

●TPP協定の国会批准をしな
いことを求める意見書

【反対討論】

野田議員 今回のTPPに関す
る協定については、賛成できる
ものではありませんが、本議
会では昨年12月に国会決議の整合
性について説明責任を果たすこ
と、確実に再生可能とする政策
を構築するなどの意見書を提出
していますので、今回の意見書
については反対とします。

【賛成討論】

大松議員 国会での決議はされ
なかつたとはいえ、これから開
かれる国会では当然議題になっ
ていくわけです。批准はさせな
い、参加させないの声をあげて
いかなければなりません。北海
道をあげてTPPに関して反対
しているわけですから何度でも
声をあげていく必要があるから
賛成意見とします。

**平成28年第1回
議会臨時会
(7月6日開催)**

議案4件を審議し、可決しま
した。

【議案】

◆穂別地区学校給食セン
ター新築工事(建築主体)
株式会社 小金澤組むかわ本店
2億736万円(税込み)

◆穂別地区学校給食セン
ター新築工事(電気設備)
佐々木電気株式会社
6千48万円(税込み)

◆穂別地区学校給食セン
ター新築工事(機械設備)

国策・鶴川水道特定建設工事共
同企業体
7千560万円(税込み)

◆平成28年度一般会計補
正予算
6月16日～17日の雨による災害
復旧費1千460万円追加。

全道議員研修会

7月5日、北海道町村議会議
長会が主催する議員研修会が札
幌コンベンションセンターで開
催されました。

高野客員教授からは、「ひと
を動かし、まちを動かす」の
テーマに講演が。

①住職の経験から、人間の行動
分析。

②「ひとを動かす」のは、理論
的思考、創造的思考、そして経
験と知識である。「まちを動か
す」のは知(情報)、情(心)、
意(行動)を備えた人たちであ
る。

③石川県神子原地区(169世
帯、高齢化比率54%、農地耕作
放棄増大)で古民家と農地賃貸

をセツトし、12家族が新規定住
した過疎化対策実例。
④良質米から超高級日本酒を醸
造し、ローマ法王に献上したこ
と。

長谷川論説副主幹からは「日
本の行方」政局・政治展望」に
ついて講演。

①国際的にみた日本の立場
・日本は中国、北朝鮮におびや
かされている。

②中国のバブルは立ち直れない。
③参議院議員選挙後、財政政策
は強化されるだろう。

④憲法改正
・改正すべきである。しかし不
可能である。

・国民投票で賛成は得られない
だろう。



全道議員研修会

ここが聞きたい!!

Q&A

7人の議員から

一般質問がありました。

※一般質問のコーナーは質問者によって作成しております。



A

地元に戻る環境づくりが課題

Q

Uターン時に返済免除する奨学金制度を

野田省一議員 高校の存続対策、少子高齢化対策として、地元高校からの進学者に奨学金制度を創設し、地元への就職者には、返済を免除する制度、現在、町が創設している看護師の制度と同様なものを考えられませんか。

竹中喜之町長 高校存続対策と少子化対策の視点も加えて考えると、地元に戻って来る環境づくりが、大きな課題となり総合的に判断をしていく必要があると考えています。

野田議員 高校の存続対策の中で、学校振興策として、資格取得支援を穂別高校で実施しています。鶴川高校でも望む声があります。今後の考えは。

齊藤春樹生涯学習課長 鶴川高校でも、今年から取り組みます。資格は、英語検定、漢字検定、実務ビジネス的なワープロ検定、危険物の取扱者などの検定費用の一部を補助していく予定です。

Q 海外派遣先を交流実績のある恐竜関連先に

野田議員 ドラムヘラーには、恐竜関連では世界最大級のロイヤル・ティレル博物館があり、旧穂別町時代から交流実績がありました。

友好訪問団も数回に渡り訪問し、中高生のホームステイ、同博物館への人事交流も継続しています。

このことから、今、実施している中高生の海外派遣事業を恐竜ワールド構想の観点からも、派遣先をカナダドラムヘラーに変更する意義があると思います。が考えは。

齊藤生涯学習課長 旧穂別町とドラムヘラーの交流は、1980年の北海道とカナダアルバータ州との姉妹提携が始まり、1989年に初めて助役と博物館学芸員が、ドラムヘラーと同ティレル博物館を訪問しました。その後6年間36人の町民が訪問し、昨年博物館普及講演会の講師としてティレル博物館のフリッパリン博士もその縁で、来町し講演しました。

一方、中高生オーストラリアへの海外派遣の目的は海外の文

化、生活、学校、家庭、語学体験を通じて総合理解やコミュニケーション能力を高める事、異なる環境の中で、日本や故郷を見つめ直す事を目指しています。

今後恐竜繋がりとしてティレル博物館やドラムヘラーとの交流が、恐竜ワールド構想の中で組立てられていく可能性もありますので、今後の展開次第で調査検討します。

野田議員 今回の提案、スピードに検討して結果を出す事が重要だと思っています。

特にワールド構想に関して熱いときに打っておくべきだと思いますので、少しでも前に進められるように検討実施して頂きたいと思えます。

竹中町長 提案の趣旨としては理解しますが、両自治体間の具体的な交流は途絶えていると受け止めています。

北海道とアルバータ州の姉妹都市交流は、まだ提携され進んでいません。



メダリストと快走

今すぐに派遣先とするのではなく、ドラムヘラーの自治体を取り巻く状況を押さえ、派遣する場合などの問題対応を十分調査したいと思えます。

また恐竜ワールドの関係では、地元の穂別博物館の職員もティレル博物館との交流もありますので、これから構想の推進に向けても交流の可能性を見定めま

Q 政策実行計画の達成度や進捗率は

A 主な事業の進捗率は96%



町長の公約を検証!

三上純一議員 竹中町長が就任して1期目の折り返し、平成26年から取り組んでいる政策実行計画(92項目)は町長の公約に基づいたもの。達成度や進捗率、今後の展開は。

また、高齢化に伴う見守り支援対策や、災害時における地域との連携強化の取組、広域連携や町民参加型のまちづくり事業の課題と検証は。

竹中喜之町長 不妊治療助成制度の創設など実施している施策が54項目、林道工事など事業途中の施策が37項目、準備中の施策が4項目、進捗率は96%の状況です。

更に施策の拡大充実を図って

いきます。

今井喜代子健康福祉課主幹 高齢者見守り支援センターを開設し、準備を進めています。

内容は、障がい者を含めた高齢者等の名簿を作成し、自治会・町内会などと連携、見守りや声かけを実施していく予定です。

竹中町長 定住自立圏構想は本年度から可能なものから取組、町単独では困難な事業など他町との連携を図っていきます。

また、町民対話型集会の実施や、町づくり耕上促進事業、環境美化モデル事業を実施していますが、町民の意見を反映しながら推進していくことが重要と考えています。

高齢化に伴い一人暮らしの割合も高くなっているが!

三上議員 高齢化に伴い一人暮らしの割合も高くなっています。対策はスピード感を持って進め

なければならぬ。

また、災害時における対策として自主防災組織の加入状況や地域防災マスターの育成状況は、**竹中町長** 高齢者の見守りは重要な取組です。役割や遵守義務などを条例等で定める必要もあると考えていますし、予期せぬ災害対応も合わせながら速やかにネットワーク事業の取組を進めていきます。

鎌田晃総務企画課主幹 自主防災組織は19、地域防災マスターは42名が道の認定を受けていますが、活動は防災訓練参加などに留まっています。

三上議員 災害時の要支援者リストは作成されていますか。

今井健康福祉課主幹 昨年の数字ですが、鶴川地区が316名、穂別地区は113名です。

三上議員 まちづくり耕上促進事業の両地区共同事業の実績や成果と新たに新設した事業の期待は。

石川英毅総務企画課主幹 両地区共同事業については、現段階では実施されていませんが、芽だし事業が3件、まちづくり支援事業を1件実施しています。

制度の周知や中身について浸透できるよう努めていきます。

介護従事者の育成は喫緊の課題!

三上議員 旧ホームヘルパー2級の資格である介護職員初任者研修の受講取得にあたって、取得環境を拡充すべきと考えます。

また、介護福祉士の資格取得助成の積極的支援も重要ですが。

今井健康福祉課主幹 初任者研修は介護職としての基礎を学ぶ研修となり、更に実務者研修を受講し、3年の実務経験によって介護福祉士の受験資格が取得できます。

初任者と実務者研修は同時に受講することが可能となり受講者が増えています。

初任者研修の助成のみではなく、実務者研修を含めた助成として拡大していきます。

また、町内で受講できる体制についても調査していきます。

三上議員 鶴川高校の生徒との懇談会で資格取得における支援の要望がありました。高生生の自己負担を無くする様な特化した支援を考えては。

竹中町長 今、現状の介護従事者養成事業の活用拡大を図る検討をしています。

活用の促進に向けた養成内容や、周知方法を含めた改善を図りながら充実に向けていきます。



たのもしい女性消防団員

Q 低所得世帯への子どもの医療費「窓口負担無し」はいつから

A 遅くとも新年度から実施



大松紀美子議員 3月議会で

「子どもの医療費を窓口負担無し」にすることを求めました。

「低所得者など、支援が必要」な方々に、現行制度の中でどのような対応が出来るか検討を行う」と答弁がありました。

渋谷昌彦副町長 現在、道内自治体の医療制度がどのように行われているか調査・研究を進めています。

大松議員 実施はいつからと考えていますか。

また、要保護、準要保護家庭の児童生徒は、就学援助制度の中で、中耳炎、結膜炎、う歯の治療費が実費支給されるとの答弁がありました。その後の活用状況は。

渋谷副町長 実施時期は条例改正などもあるため、遅くとも新年度からと考えています。

中村博生生涯学習課参事 就学援助制度は年度開始前に学校から保護者へ周知しています。

昨年度の準要保護世帯への医療券発行は7件です。

大松議員 2014年12月議会では「子どもの健康を守る対策」として「医療費窓口負担無し」を求めました。

また、今年3月議会と今回で3回、「窓口負担無し」を求めています。

医療機関との「委任払い」の交渉をすることになります。

低所得者だけではなく、全体の仕組みを変え、現金を用意しなくても安心して医療にかかれるようにする考えは。

渋谷副町長 制度的には「乳幼児医療費助成制度」の拡大となります。

金券による現物給付は、地域の経済循環に寄与していること

から、低所得者対策との二本立てでと考えています。

かわり②町民の防災意識向上の取り組み③防災グッズ購入支援の考えは。



袋の中身が楽しみ（穂別小 運動会）

Q 熊本地震を教訓に、町の安心安全対策は
A 防災意識向上の取組を強めます

大松議員 熊本地震は、地層に

活断層が走っているれば日本中どこでも同じような地震が発生することを教え、日ごろの備えの大切さを知ることになりました。

むかわ町の備えについて①町内会・自治会加入率と防災のか

の考えは。

竹中喜之町長 むかわ町も市街地直下に石狩低地東縁断層帯南部活断層が存在しています。

①むかわ町全体で約8割です。大規模広域災害時、公助が追いつかず、自助、共助、特に地域コミュニティの共助がいかに重要かを教えています。

自治会・町内会組織率の向上や自主防災体制の組織化を平行し取り組みます。

②広報による事故対応や事前対策啓発、両地区での防災訓練を開催し、防災意識の向上を図ります。

③特色ある地域づくり事業のなかの「安心・安全のまちづくり事業」で、自主防災組織や防災訓練、防災資材などの購入経費を3年間30万円を限度に補助制度があります。活用を。

Q 道の整備要望の取り組み状況は

A 米原地区、稲里地区共に時間がかかる見込み

大松議員 ①道道鶴川穂別線の米原地区の整備要望の取り組み状況は。

②道道穂別鶴川線稲里地区の整備要望の取り組み状況は。

竹中町長 ①現在1・1キロメートルの区間が未改良区間です。現在北海道の道路整備計画の見直しが必要となり、事業着手が出来ない状況にあります。

町も平成20年度から苫小牧地方総合開発期成会などを通し機会あることに要望しています。平成27年度には米原自治会からも室蘭開発建設部苫小牧出張所に要望書を提出しています。平成30年度以降の道路整備計画に搭載予定と回答を受けています。

②稲里地区は平成26年度事業着手しています。長距離であり、地すべり対策も必要なことから、事業完了には一定期間要するとの回答を受けています。

Q

晴海海岸の浸食対策は

A

日高胆振沿岸海岸保全基本計画関係事業による早期整備の促進で



津川篤議員 晴海地区工業団地

には、各種企業、衛生組合、下水道終末処理場が立地しています。この地区の海抜は、3mないし2・5m位しかなく海岸浸食による災害が非常に危惧されますが、これまでの対策と今後については。

竹中喜之町長 海岸浸食防止及び保全対策の実施は、国・道の関係機関に強く要望してきています。

鷗川河口左岸側の一部で海岸汀線後退がありました。これまでの国の保全事業により近年は安定傾向になっています。しかし、事業未着手部分では放牧地への浸水、隣接工場敷地への冠水、下水道施設の被害が発生しています。

また、海岸汀線が海岸防災林

まで達している状況もあります。特に晴海地区は、平成23年度に防潮堤の一部が高潮等の影響で崩落し施設機能の低下が危惧されることから、道へ早期復旧を強く要望してきました。

現在北海道は、平成27～30年度の4年間で小規模模治山事業での防潮堤と周辺の海岸防災林植栽工事を実施しています。

今後も海岸管理者の北海道が策定した日高胆振沿岸海岸保全基本計画に基づき、津波危険箇所早期整備の促進と離岸堤、人工リーフ等の施設を含めた護岸整備計画の早期実施にむけ、苫小牧地方総合開発期成会を通じてさらに国・道に要望していきます。

津川議員 防潮堤は、4か年計画に入っているということですが、衛生組合施設等は海岸線に

近接しており、周辺は自然状態で防潮堤が全くありません。またハザードマップを見ても非常に危険な地域であるとみなして良いと思いますので、一日も早く実施できるよう取り急ぎ国・道に働きかけをする必要があると考えるが。

竹中町長 当該地区については、旧町時代から国・道に粘り強く

要望してきましたし、海岸浸食の実態について現地にも入っています。

また、これらの浸食防止及び保全対象の実施に向け、最重要事項の一つとして苫小牧地方総合開発期成会、さらには移動政調会の場で要望しています。加えて海面との高低差のない所に集落がありますので、津波を含めた防災・減災の観点からも取組が講じられるよう引き続き粘り強く要望していきます。

Q 本町小河川の管理方法

A 業者委託と町職員で対応

津川議員 鷗川・穂別地区の小河川の数、管理方法及び管理マニュアルは。

渋谷昌彦副町長 本町に流れている河川は、鷗川水系1級河川鷗川及び入鹿別川水系2級河川入鹿別川です。

このうち町が管理する河川は、鷗川地区55河川、穂別地区16河川です。道が管理する河川は、鷗川地区4河川、穂別地区9河川です。

町管理の河川は、町内委託業者による年2回の河川パトロールと町職員による目視確認、地先住民による情報提供により、必要に応じて埋塞土砂掘削や流木伐採を行っています。また、融雪、豪雨や台風後の出水については、町職員によるパトロールと地域住民への聞き取りで、河川の埋塞及び決壊状況を把握し、その対応を図っています。

河川管理に際しては、国が示した河川巡視規定に基づいて、平常時及び出水時毎の巡視項目に準拠して河川状況を確認しています。その結果から河川機能回復や河川区域維持の観点から土砂や流木等の飛翔物を除去して維持管理に努めており、今後も道公表の維持管理水準を準用していきます。

津川議員 河川管理経費は、地方交付税の算定項目に盛り込まれている割合が非常に少なく、町費の対応になると思うが、予算編成での考え方は。

高田純市総務企画課長 河川数による算定項目はなく、その他土木費全般の経費で計算しています。実際の予算編成では、過去の状況、決算、前年度予算を考慮して維持管理費を想定し、次年度の予算を編成しています。



秋はもちつき？（穂別小 田植体験）

Q 各種案内板の設置の進捗状況は

A 今年度中に恐竜ミニユメントを設置



山崎満敬議員 3月の議会で、おもてなしの心が伝わる各種案内板が不足していると指摘をしましたが、進捗状況は。

渋谷昌彦副町長 国の地方創生加速化交付金を活用して、主要観光施設等に外国語併記の案内看板の設置及び恐竜ミニユメントの設置を計画してきました。

案内板は、交付金事業として採択されなかったため実施することができなくなりました。案内要素を含めた恐竜ミニユメントの設置を今年度中に実施します。

町単独では穂別地区市街地に設置されている来町歓迎の看板表記をリニューアルします。

山崎議員 生田地区の老人クラ

ブの方々が、ハドロザウルスの絵を描いた穂別博物館までの案内看板を製作しました。

町民の方々が率先して案内板や看板の制作に携わることで、恐竜化石を生かしたまちづくり、恐竜ワールド構想に対する理解や応援が増えるのではないかと思います。町がリーダーシップをとってこのような取り組みを後押し出来ないか。

加藤英樹地域振興課主幹 補助金活用等を現在検討しています。町内おもてなしの看板設置は、今年度中の設置に向け現在鋭意努力をしています。

山崎議員 四季の館のロビーにハドロザウルスの原寸大の全身骨格の看板が左側壁面に飾ってあります。

多くの皆さんからあの位置では気がつかないと指摘を受けていますが、何らかの対処方法を考えていますか。

田口博教育振興室主幹 幕の大きさが縦4メートル、横8メー

トルとなることから、フロント側の壁面には出っ張り等があり幕全体が展示できないことから現在に位置になっています。

成田忠則産業振興課長 フロント側に何らかの展示だとか、恐竜ワールドグループでも検討しています。

足跡を付けていく形で看板に目線を持って行くことも検討しています。

Q ホテル四季の風の予約混雑の解消策は

A 調査研究進めていきます

山崎議員 四季の館ホテル四季の風について、予約が大変難しい状況がつづいています。

結果として交流人口をのがしていると思います。

これらのことを踏まえ、状況分析、解決策については。

竹中喜之町長 客室稼働率では高い水準で、人員稼働率は6割に満たない状況です。洋室が8室ツイン仕様、和室が8室トリプル仕様で、実態はシングルユースの利用が多いことによるものです。

人員稼働率をいかに高めるか多くの課題が想定されます。

広い視点で調査、研究を進めながら解決策について十分議論をしていきたいと考えています。あわせて家族、ペア、グループによる宿泊客のさらなる獲得を図るなど、客単価の向上等の収益性を上げる取り組みが必要と捉えています。

山崎議員 数年後には多少のリニューアル、改修が必要ではな

いかと思いますが、建物の構造上の問題もあるが、1人部屋も視野に入れては。

竹中町長 費用対効果、さらには構造上の問題、改修のタイミング、多くの課題が想定されます。さらに広い角度、広い視点で調査研究を進めていきます。



もっと見やすく ハドロサウルス

Q 介護労働者確保に町独自の支援対策を

A 実情を把握し対応をすすめたい



北村修議員 安心できる介護、医療で「この町で暮らしたい」の願いにどう応えるのか。

介護労働者が確保できず、施設機能が十分でないなど、介護に働く者の低賃金がある。

介護労働者確保に町独自の報酬引き上げ支援をしてはどうか。せめて住宅確保、家賃助成などの支援対策を図っていくべきでは。

竹中喜之町長 町として、介護関係の人材確保の施策を拡充するとともに、地域ケアシステムの取り組み、実情をきちんと把握しながら、今後に向けた対応を進めていきます。

北村議員 介護施設だけがをし入院、治療が一段落したら「次

の場所を考えてください」と言われ「どうすればいいのか」と不安になる等の実態があります。町の病院であり、不安を抱かせることがあってはならない。

医療、介護に行政がしっかりと連携し、どのように対応していきましょう。

中澤十四三地域振興課主幹 2

つの病院スタッフ、介護施設職員、居宅支援事業所、訪問看護等各種事業所担当者で地域ケア会議を毎月両地区で定期的開催し、地域の課題の検討、情報交換を行い連携に努めています。

Q 後期高齢者医療制度の改正で保険料負担が広がるが

A 特例軽減廃止となれば5割の方が負担増に

北村議員 本制度は、医療費の負担が2割になり、さらに短期保険証の実態など制度自体が問われています。その上、国は2017年度をめどに保険料の特例軽減制度の廃止を出しています。

す。この措置を廃止させてはならないと思うが。

竹中町長 廃止となれば、年金収入80万円以下の方は、月410円から1230円になります。本町の特例軽減対象者は約5割です。必要な見直しを図る際には、国と地方が十分な協議を行うよう求めて行きます。

Q 国保事業への国からの支援制度金を国保の引き下げに

A 保険者への支援と認識を引き下げにはまわせない

北村議員 今回の国の保険者支援制度は、政府が国保の「都道府県化」を進めるにあたり、全国知事会との要請過程で厚労省は、「被保険者1人当たり、5千円程度の財政効果になる」とだされています。

すでに各地で保険料の引き下げに活用されています。本町としても対応を図るべきでは。

竹中町長 制度は、保険者に対する財政支援制度の一つで、保険料の法定減免措置における低所得者の人数に応じて財政支援で保険者を直接的に支援するものです。

本町の国保会計は厳しく、現段階で引き下げる状況にはありません。

Q TPPは国会決議に違反。特別予算は町で活用できましたか

A 協議をしてきたが事業要望にはならなかった

北村議員 TPPの大筋合意は、国会決議にも違反が明確。対策とした国の補正予算は町で活用できましたか。

竹中町長 十分な説明がないまま国会が終わりました。生産者の不安に丁寧な説明が必要で、関連予算は、協議を重ねてきました。事業要望には至りませんでした。

Q 熊本地震から学ぶ教訓は

A 活断層地震対策で町防災計画を見直します

北村議員 熊本地震は、新たな教訓をしめました。福祉避難所等学ぶべき課題は大きい。町防災計画と業務継続計画（BCP）について取り組むべきでは。

高田総務企画課長 防災計画については、まだ不足しており、見直します。BCPについては、国・道も重視しており、本町も計画をつくりま



いそいで いそいで

委員会報告

産業建設常任委員会 総務厚生文教 常任委員会



上下水道施設の管理状況と今後について (産業建設)

【開催日】 1月15日、4月15日

4月に春日浄水場等視察を行い、上水道施設・下水道施設の両地区の管理状況及び委託状況等の説明を所管課から受けました。

委員からは、「町職員を含めた水道管理が出来る技術者の人材確保はどうなっているのか」「施設の老朽化の対応はどうか」

のか」などの質問がありました。所管課からは、「町の技術職員については以前から新規採用を要望しており、技術者の育成は早急に対応が必要と考えている」「施設については、確かに老朽化が進んできているが、修理や機械の取り替えをやってきている」等の回答がありました。

以下のとおり意見をまとめ、本件に係る調査を終了しました。

- ・ 水道管の耐用年数が過ぎていく部分があるかと思うが、何かあってからの対応ではなく、先を見越した対応をお願いしたい。
- ・ 施設の委託等については、業者の育成という点からできるだけ地元業者を使ってもらいたい。

鷗川中央小学校改築工事について (産業建設)

【開催日】 4月4日

現地を視察した後、所管課から説明聴取を行い、質疑及び意見交換を行いました。

所管課からは、今後の工事については、平成29年2月後半ま

で旧校舎の解体後、低学年棟を建設していき、3月までに低学年棟建設を完了する予定となっている。また、自然の光が入るなどの校舎の工夫等の説明がありました。

委員からは、「照明器具の交換時期が一度に来た場合対応はできるのか」「吹き抜け部分の2階の手すりは子どもが落ちる危険はないのか」「災害時の避難場所という位置づけがあるが状況はどうなのか」等質問があり、「照明についてはすべてLEDとしており耐用年数は10年と

なっているが、取り替えが一度に来るのかについては、今の段階ではわからないが、対応はしていく」「また、「手すりの高さについては、ほかの学校と同じ高さとなっており、今まで落ちた事例はない」「避難場所としての機能については、現在想定されている津波に対しては十分な高さとなっており、2階からさらに屋上に逃げることの出来

る階段もある」等所管課から回答がありました。

意見を集約した結果、以下のとおりまとめました。

- ・ 子どもの通学路も含めて、子どもの安全確保を徹底していただきたい。
- ・ 工事が進んで行くにつれて先生活や保護者から子どもの安全について気付くこともあると思うので、それらの意見に対して改善できるものは柔軟に対応していただきたい。
- ・ 避難場所としての機能を町民に周知徹底していただきたい。



ぱっちり

末広団地新築工事について (産業建設)

【開催日】 4月4日

現地を視察した後、所管課から説明聴取を行い、質疑及び意見交換を行いました。

公営住宅については、年齢・性別・障害の有無など全ての人々が安心して暮らせるようユニバーサルデザインを取り入れており、末広団地においてもバリアフリーやドアを引き戸にするなどしている。洋光団地からの住み替えの状況については、8名の方の入居が決定しているとの説明がありました。

「入居希望者への説明会の際にはどのような質問があったのか」「今後の公営住宅の建設計画はどうなっているのか」などの質問があり、説明会で一番多く質問があったのは、「強制的に引っ越しをしなくてはいけないのか」という誤解からの質問や自分の家賃に関する質問が多かったです。いずれも丁寧に対応をしています。また、今後の建て替えに関する計画については、平成28年度に再度検討をしますと回答がありました。

意見を集約し、次のとおりまとめました。

- ・住み替え希望者が少なかったことを考慮し、改めて今後の入居条件等の検討をしていただきたい。
- ・洋光団地に残りたい希望者に対しては、行政として対応をしていただきたい。

鷓川中央小学校改築事業の進捗状況について
(総務厚生文教)

【開催日】 4月4日

現地を視察した後、所管課から説明聴取を行いました。

鷓川中央小学校については、給食センターと合わせて平成27年度から平成28年度まで工事が実施されている。学校生活に支障が少ないように、また安全確保をしながら工事はすすめられてきているなどの説明を受けました。

「工事現場の近くが児童通学路になるが安全面はどうなっているのか」「工事が長期間になるが地域住民への説明はどうなっているのか」など質疑が出され、所管課からは、「児童の安全を考慮して登下校時の工事車両の出



もう 限界だ

入りを行わないようにしている」「近隣住民には、工事関係者より説明してもらうことになっているが、工事により仮の児童出入り口周辺住民については今後対応を検討していきたい」と回答がありました。

その後委員間で、「地域住民としては、2年間工事の音と地響きのなか生活しているのので、行政からのきめ細やかな対応をしてもらいたい」「放課後を中心に児童への指導を徹底してもらいました。」

議会が鷓川高校3年生と懇談会を開催

公職選挙法の改正で、選挙権が18歳に引き下げられました。有権者となる高校生に、選挙や政治参加への関心を高め、地方政治について学ぶ機会になることを願い、5月30日鷓川高校で懇談会を開催しました。

鷓川高校3年生15人と議会運営委員7人が参加しました。

はじめに、三上議運委員長が地方議会の構造や機能、議員の身分や役割について説明しました。

現在議員の平均年齢が68歳と高齢化してきていることや、若い議員のなり手が不足している実態について、議員が町民から遠い存在ではないか、報酬が低いことが要因ではないかなど、課題も含め報告しました。

高校では事前に、「政治関心アンケート」を実施。162人が回答していました。

在学中に選挙権を得る生徒は15人。

7月の参院選挙に行くと言ったのは10人。

行かないは4人で、その理由を「選挙が良くわからない」で

した。

懇談会に参加した生徒からは「いきなり選挙権と言われても困るという感じ。小学校から政治について教えて欲しかった」「高校生に向けたパンフレットを作ってほしい」などの意見が出されました。

また学校生活での要望について、「苦小牧からの通学バスを、土日にも運行して欲しい」「学校に売店を」などが出されました。

最後のまとめで富野里奈さんが、「3月議会も傍聴しましたが、話が難しく理解が出来なかつた。

今日は分りやすく説明があり、もっとむかわ町に貢献しようと思いました」と発言しました。



お聞きしますが

議会事務局からのお願い

議長宛の文書や案内状などは、議長の公務日程上の調整をする必要がありますので、議会事務局に送付下さるようお願いいたします。

表紙の写真

児童7人と地域の人達とたくさん思い出を作った運動会です。

仁和小中栄和祝合同大運動会
173年の歴史に
ありがとう 仁和小学校
平成28年11月20日 開校記念式典